



九州大学筑紫地区「ちくしの科コミ」×大野城心のふるさと館 プレゼンツ

ここふるサイエンスカフェ Vol. 6

～プラズマって何？えっ、人類を救うかもしれないの！～

九州大学筑紫キャンパスと大野城心のふるさと館は、科学の不思議・楽しさ・奥深さを、中学生・高校生を始め、多くの皆さんに気軽に知っていただくことを目的として、皆さんと考えながら科学への理解を深められる「サイエンスカフェ」を実施しております。

第6回目の講師は、九州大学応用力学研究所の花田和明教授です。当日は、同研究所の恩地拓己助教が遠隔実験を行います。ファシリテーターを総合理工学研究院の金政浩准教授と中央分析センターの稲田幹准教授が担当します。

【開催日】令和5年6月23日（金）19:00～20:30

【場所】大野城心のふるさと館（大野城市曙町3-8-3）

【定員】30名（対面のみ募集）※申込多数の場合は抽選

【締切】令和5年6月4日（日）

※申込方法は**大野城心のふるさと館 HP** からご確認ください

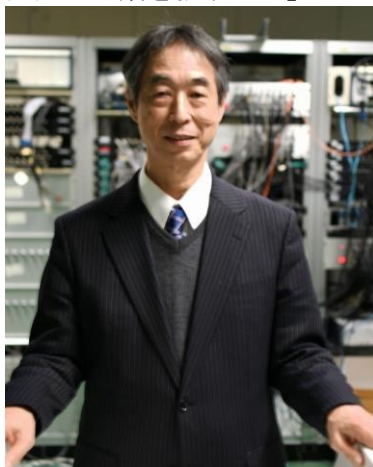
<http://onojo-occm.jp/li/190/cocofurusciencecafe.html>

▼申込フォーム



花田教授からひとこと：

身近ではあまり見ないプラズマですが、実は宇宙の物質の99%はプラズマと言われています。講演では身近なプラズマを紹介しながら、その性質を探っていきます。その性質を理解すると、雷をどうやって避けられるのかやプラズマボールの不思議が少しわかります。高校生が考えた実験を実演しますので、皆さんも考えてみましょう。最後に「プラズマを使った壮大な計画が人類を救うかも」というお話をします。

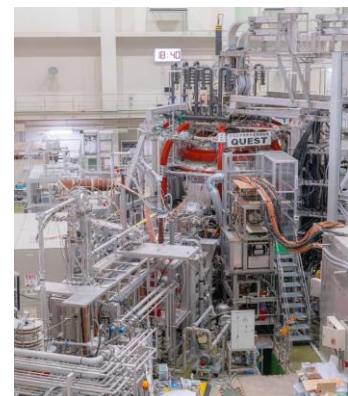


▲花田和明教授



▲実験装置

保存容器の一種であるデシケータに真空ポンプをつなぎ、空気をわずかに残して電極に電圧をかけてプラズマ・ビームを作る実験装置（高校生が考えた実験）



▲QUEST

九州大学の高温プラズマ実験装置で1000万度を超える高温プラズマが生成できる。

また100万度くらいのプラズマの維持時間は6時間で世界最長。



▲プラズマボール

【お問い合わせ】 大野城心のふるさと館

TEL:092-558-5000

FAX:092-558-2207

Mail:cocofuru@city.onojo.fukuoka.jp

九州大学筑紫地区事務部庶務課庶務係

TEL:092-583-8306

FAX:092-583-7060

Mail:srssyomu@jimu.kyushu-u.ac.jp